

■(卜部)吉田兼好
よしだけんこう
沙石集・・・1283＝
北条時宗没・1284＝ 1歳：

無常を感じて出家，名随筆「徒然草」を書き，和歌数寄者として，隠者の伝統を鴨長明につなげた。

京都生まれ。父兼頭は治部少輔で，兄弟に大僧正慈遍，兼雄がいる。

関東で若い時期を過ごした。

・・・・・・1290＝ 7歳：父に仏とは何かと問う。

・・・・・・1292＝ 9歳：

平禅門の乱・1293＝10歳：

永仁徳政令・1297＝14歳：

堀川家の家司となり，

後二条天皇・1301＝18歳：_藏人として，後二条天皇に奉仕。

この間，宮仕えをしつつ，鎌倉へも2回以上赴いている。

将軍追放交替1308＝25歳：_後二条天皇が死去し，官を辞する。

・・・・・・1310＝27歳：

_無常を感じたためか，

・・・・・・1313＝30歳：_山城小野荘内の田地 1 町を銭90貫で購入し，売主，その売券に公家徳政・武家徳政があっても買戻さない旨を書入れる。出家した。出家後の生活を支えたのは，購入した洛外山科の田地からの年貢米であった。

文保御和談・1317＝34歳：*この頃から歌人として名が知られ，歌会への出席も多くなる。

後醍醐天皇・1318＝35歳：

・・・・・・1319＝36歳：この頃，_“つれづれなるままに”と書き出される「徒然草」の一部が成立。

・・・・・・1322＝39歳：山城小野荘内名田を寄進する。

正中の変・・・1324＝41歳：_二条為世から「古今集」を受講するなど，頼阿，浄弁，慶運とともに二条為世門下の四天王の一人と賛えられた。歌壇での地位の安定とともに，古典作品の書写や研究にも力を入れる。

北条氏外執権1326＝43歳：_邦良親王も急逝して再び無常を味わい，「徒然草」の推敲に力を入れて，

・・・・・・1328＝45歳：

元弘の変・・・1331＝48歳：この頃，*「徒然草」が完成。この随筆が代表作となった。

鎌倉幕府滅亡1333＝50歳：

_<建武の中興>となって，朝廷の権威が回復したのを喜んだのもつかのま，

南北朝分裂・1336＝53歳：一条猪熊御所で「源氏物語」を校合する。*室町幕府が発足，以後は徹底して和歌数寄者として過ごす。

・・・・・・1337＝54歳：「八雲御抄」を順徳院宸筆本により校合する。

この間，諸撰歌集に作品が入集。

・・・・・・1344＝61歳：足利直義勸進の「高野山金剛三昧院奉納和歌」の作者となり，

・・・・・・1345＝62歳：この頃，勅撰集「風雅和歌集」の撰集に提供するため「兼好法師自撰家集」（「兼好法師集」）を編集した。

・・・・・・1346＝63歳：賢俊僧正に従って伊勢に下ったり，

・・・・・・1348＝65歳：高師直に近侍したりするなど，足利幕府を中心とする武家方に接近している。

観応の擾乱始1350＝67歳：玄恵法印追善詩歌，二条為世十三回忌和歌会の作者となり，

・・・・・・1351＝68歳：「続古今集」を書写，

観応の擾乱終1352＝69歳：「後普光園院殿御百首」に加点したことが知られている。

・・・・・・1353＝70歳：_没した。